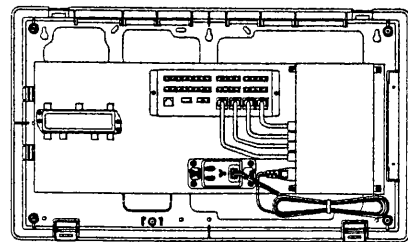
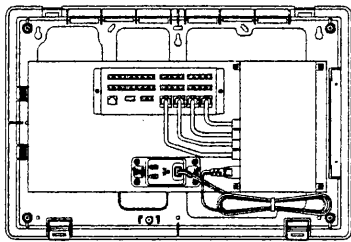


TOSHIBA

住宅用情報盤 取扱説明書

TFH-MBC-48B(タイプB) TFH-MBC-55C(タイプC)



- お買い上げいただきありがとうございました。よくお読みの上、正しくお使いください。そのあと、大切に保管してください。
- 住宅用情報盤にはインターネット、テレビ、電話などをご使用の際に必要な機器を内蔵しています。正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読み下さい。

警告

- 定格電圧・定格電流を超えた条件で施工しないでください。発熱して、焼損や火災の原因となります。
- 内部機器を分解したり、改造したりしないでください。火災や焼損、故障の原因となります。
- 破損の原因となりますので分電盤を構成する部品(ヒンジ部など)に油、薬品、洗剤(中性洗剤含む)をつけないで下さい。

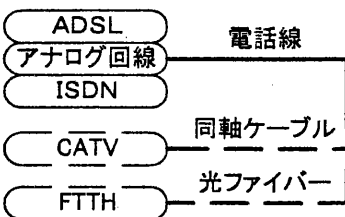
使用上のご注意とお願い

- 高温・多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃など異常な環境での使用は避けて下さい。
- 本製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。ベンジン・シンナー・殺虫剤・酸性洗剤・アルカリ性洗剤等を使用しないで下さい。
- 機器のご使用方法の誤り、天災地変(誘導雷サージ含む)などによる事故損害については責任を負いかねますのでご承知ください。
- 本製品の故障・不具合・誤動作等により、通信できずに生じた損害等の纯粹経済損害に対しましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

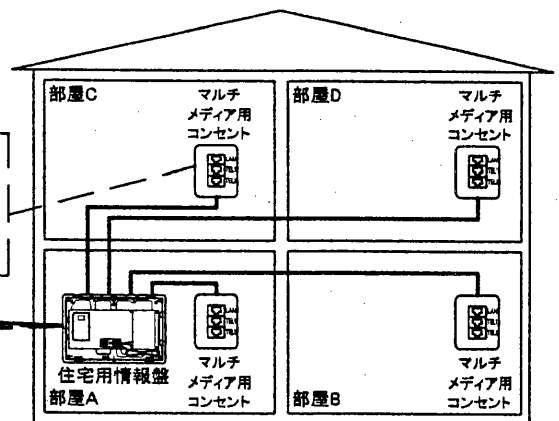
はじめに 住宅用情報盤を使ってできること

宅内に住宅用情報盤とマルチメディア用コンセントを設置・接続する事で住宅用情報盤経由で色々な方法でインターネットへ接続できます。

インターネットへの接続方法

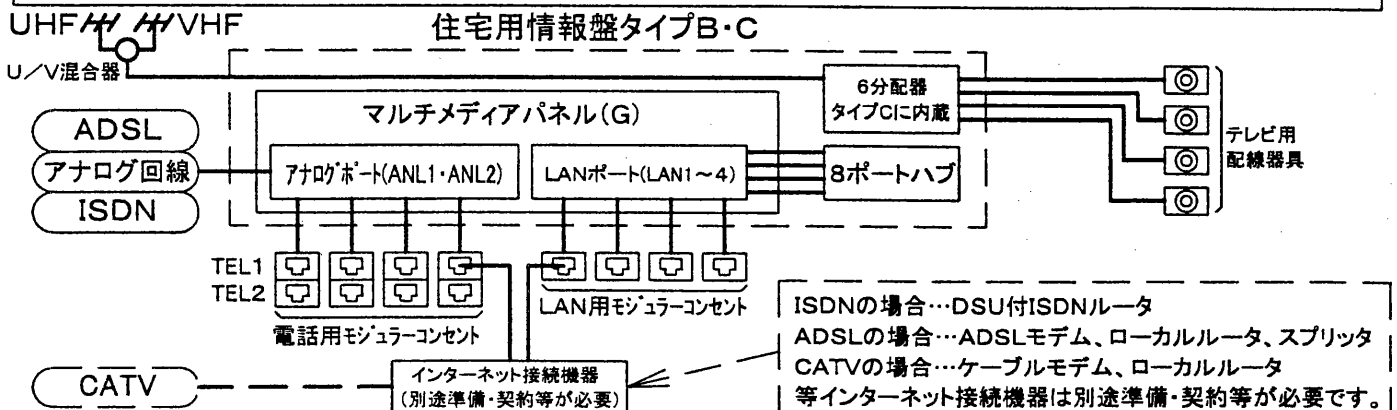


住宅用情報盤から各部屋にマルチメディア用コンセント LAN・TEL1・TEL2の先行配線を行います。



住宅用情報盤タイプB・Cのシステム構成

TFH-MBC-48B (タイプB)
TFH-MBC-55C (タイプC)



商品のご確認 付属品

取扱説明書

TFH-MBC-48B(タイプB)

住宅用情報盤 取扱説明書 (本書です)	住宅用分電盤 施工説明書	マルチメディア パネル(G) 取扱説明書	8ポートハブ FSW-8L 取扱説明書
---------------------------	-----------------	----------------------------	---------------------------

TFH-MBC-55C(タイプC)

住宅用情報盤 取扱説明書 (本書です)	住宅用分電盤 施工説明書	マルチメディア パネル(G) 取扱説明書	8ポートハブ FSW-8L 取扱説明書	6分配器 CTS-D6 取扱説明書
---------------------------	-----------------	----------------------------	---------------------------	-------------------------

クイックソケット



2極1連
18個

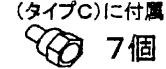


4-2極1連
1個



2極2連
8個

F接栓(5C)

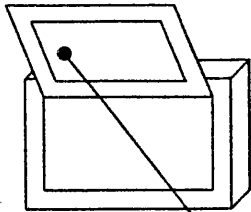


(タイプC)に付属
7個
*5C以外の同軸ケーブルを使用される場合は同軸ケーブルに合ったF接栓をご使用下さい。

住宅用情報盤タイプB・Cの構成

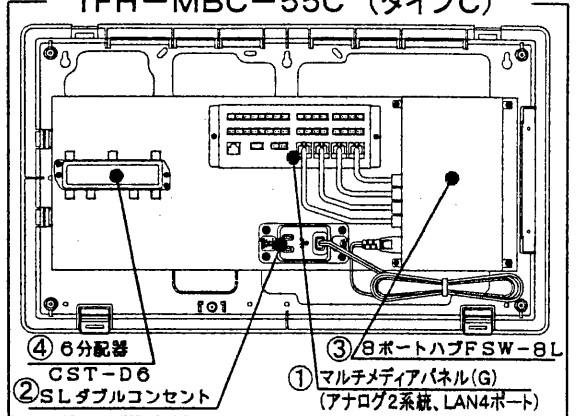
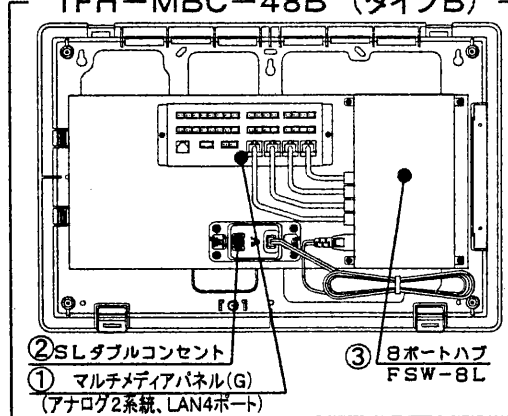
TFH-MBC-48B (タイプB)

TFH-MBC-55C (タイプC)



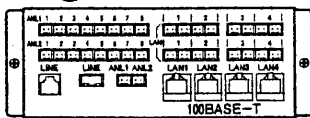
扉裏ラベル

形名は扉裏ラベルに明記されています。
扉裏ラベルに配線行先(部屋名)を記入して下さい。



各部の名称とはたらき

① マルチメディアパネル(G)



詳細は

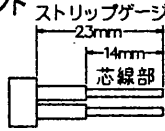
マルチメディア
パネル(G)
取扱説明書
をご参照下さい。

アナログ8ポート×2系統、LAN4ポートをソケットにて接続するパネルです。専用ソケットを使用するので、システム変更があっても配線後の差替が簡単です。

② SLダブルコンセント

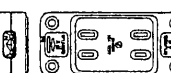
ストリップゲージ
23mm
14mm
芯線部

φ1.6φ2Cu単線専用、電線は電線はずし釘を押さえて奥まで確実に差し込んでください。



定格15A 125V

φ1.6・φ2単線専用



1次側の電線をSL(ねじなし端子)にて簡単に接続出来るダブルコンセントです。

1口を8ポートハブの電源供給に使用します。電線は上記の寸法に加工して配線して下さい。

③ 8ポートハブ

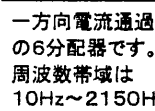
100BASE-TX / 10BASE-T
自動認識の8ポートスイッチングハブです。

詳細は
8ポートハブ
FSW-8L
取扱説明書
をご参照下さい。

④ 6分配器

(タイプCに内蔵)

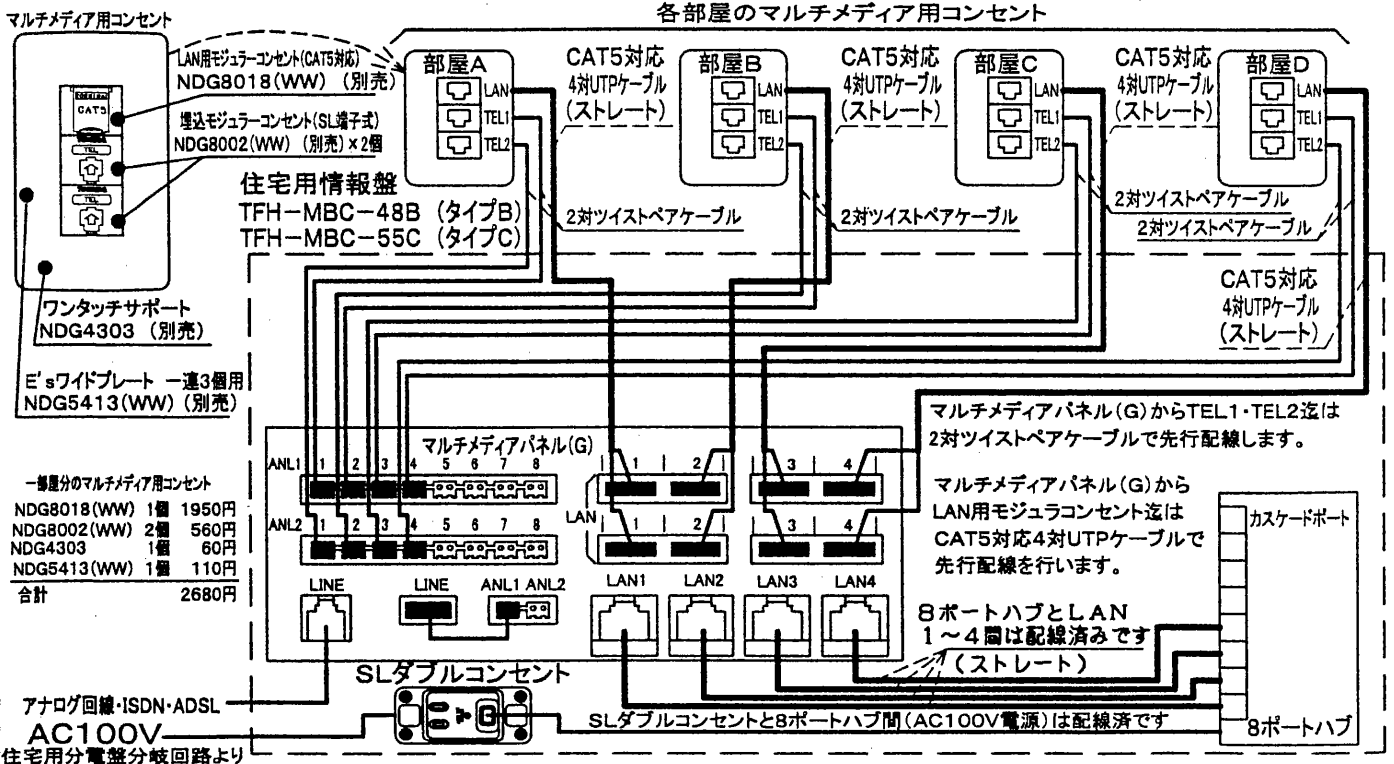
一方方向電流通過型の6分配器です。周波数帯域は10Hz~2150Hzです。



詳細は
6分配器
CTS-D6
取扱説明書
をご参照下さい。

住宅用情報盤タイプB・C~各部屋への配線例

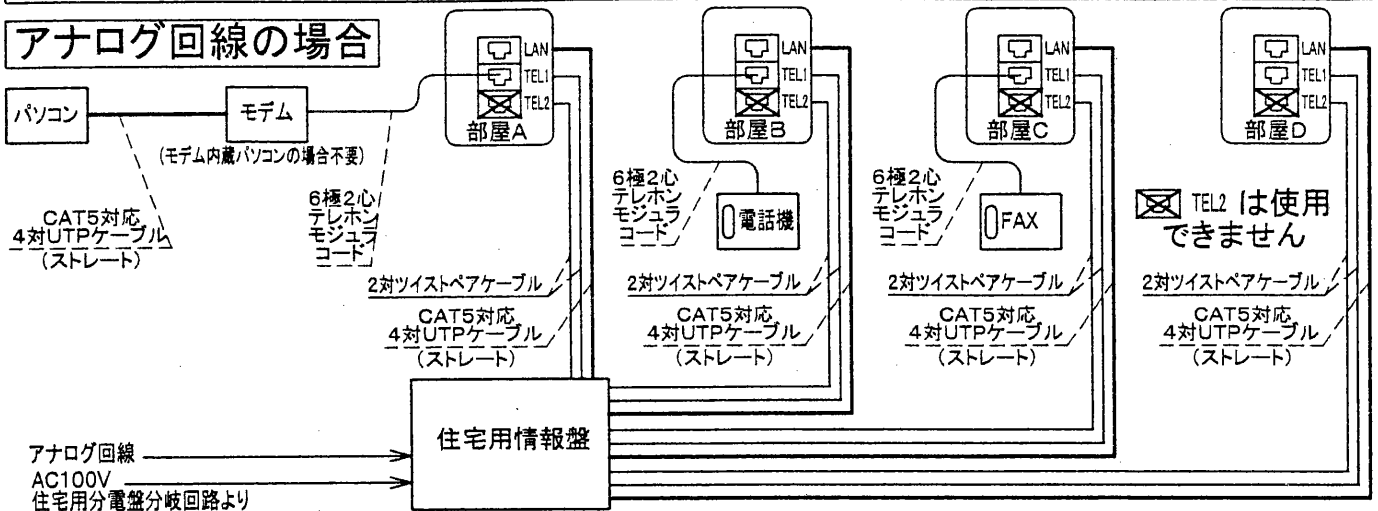
扉裏ラベルに配線行先(部屋名)を記入して下さい。配線チェックはチェッカーをご使用下さい。



各方式での配線例

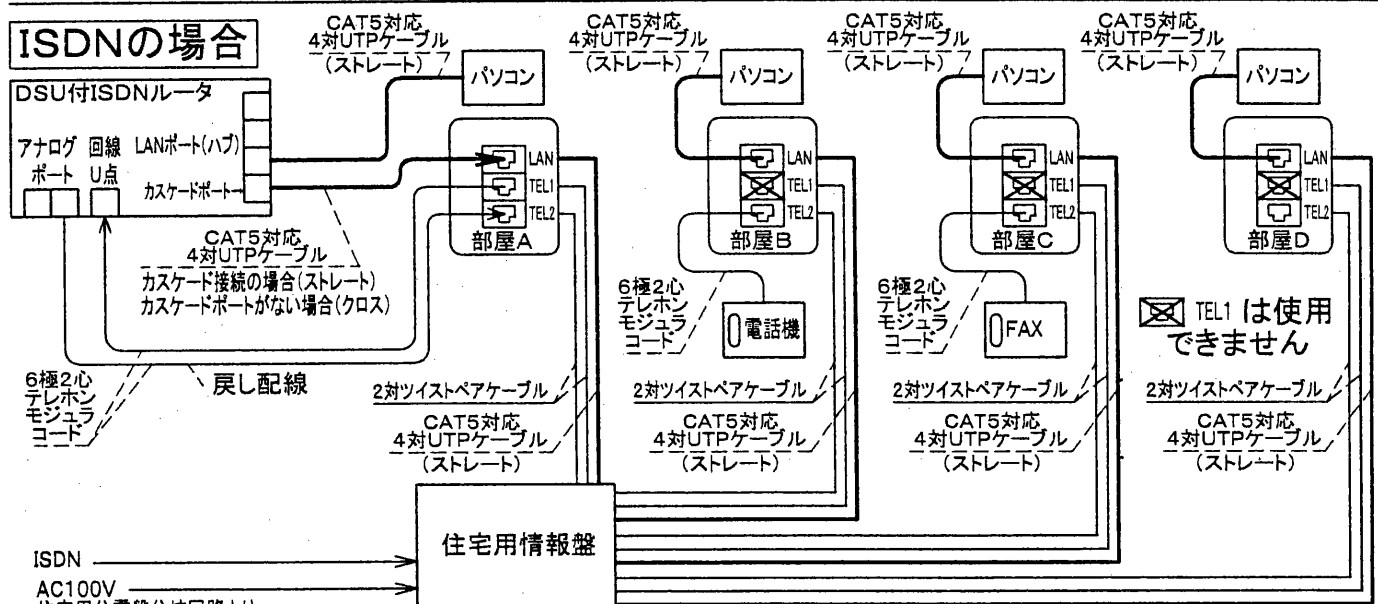
◎インターネットへ接続するにはプロバイダへの加入が必要です。
◎詳細の設定等については各サービス提供会社にお問い合わせ下さい。

アナログ回線の場合



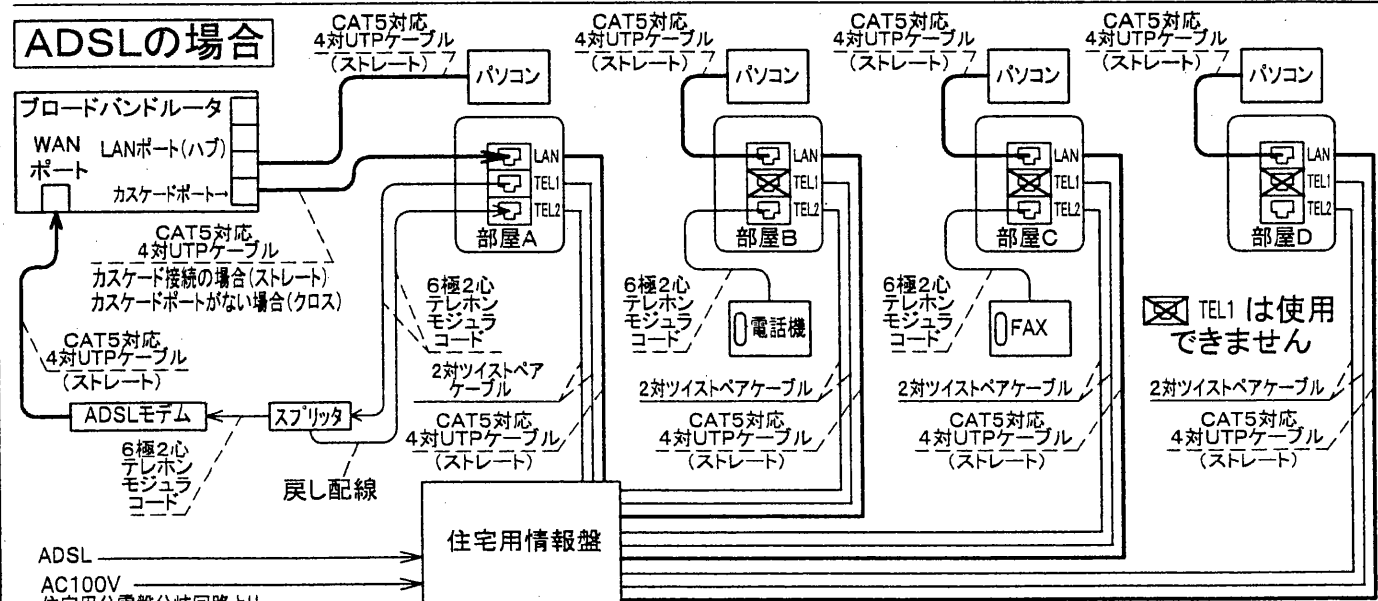
- (ご注意) ① LAN用モジュラコンセントにパソコンをつないでもインターネットへ接続は出来ません。
② アナログ機器は3台迄接続できますが、2台以上同時に使用することはできません。

ISDNの場合



- (ご注意) ① DSU付ISDNルータを別途準備して下さい。
② パソコンには100BASE-TX/10BASE-T等のインターフェイスが必要です。

ADSLの場合



- (ご注意) ① ADSLモデム、ブロードバンドルータ、スプリッタ等を別途準備して下さい。
② パソコンには100BASE-TX/10BASE-T等のインターフェイスが必要です。
③ 複数台のパソコンをインターネットに接続する方法について詳しくはADSLサービス提供会社にお問い合わせ下さい。
④ アナログ機器は3台迄接続できますが、2台以上同時に使用することはできません。

困った時は 故障?と思う前に下記の点検・処置を行って下さい。

◎アナログ機器(電話機・FAX等)が使用できない時

状態	点検(確認して下さい)	処置(対策)
モジュラコンセントに接続しているアナログ機器(電話機・FAX等)が使用出来ない。	住宅用情報盤～各部屋への配線は正しいですか?	配線をご確認下さい。
	住宅用情報盤内のソケットが外れていませんか?	ソケットを差し込んで下さい。
	モジュラコンセントのTEL1とTEL2が間違っていないですか?	TEL1・TEL2を確認して機器を接続して下さい。

◎LANが使用出来ない時

状態	点検(確認して下さい)	処置(対策)
パソコン、プリンター間等の通信が出来ない。 (LANが使用出来ない)	HUBのPOWER LED(緑)が点灯していますか?	HUBの電源コンセントを確認して下さい。
	パソコンの電源を入れた状態で、HUBのLink/Activity LED(緑)が点灯していますか?	LEDが点灯する場合、パソコン迄の接続は正常です。パソコンの設定をご確認下さい。 (パソコンメーカーにご確認下さい。) LEDが点灯しない場合、配線をご確認下さい。
	パソコン等のLAN用インターフェースは10BASE-T、100BASE-TXに準拠していますか?	10BASE-T、100BASE-TXに準拠したインターフェースを持つパソコン又はネットワークインターフェースカード等を接続して下さい。

◎インターネットに接続できない時

状態	点検(確認して下さい)	処置(対策)
アナログの場合	モデム(又はモデム内蔵パソコン)をモジュラコンセントへ正しく接続されていますか?	正しく接続して下さい。 モデムメーカーへお問い合わせ下さい。
ISDNの場合	DSU付ISDNルータは正しく接続されていますか?	正しく接続して下さい。 ルータメーカーへお問い合わせ下さい。
ADSLの場合	スプリッタ、ADSLモデム、ローカルルータ等は正しく接続されていますか?	正しく接続して下さい。 各部品メーカーへお問い合わせ下さい。
CATVの場合	CATVのインターネット各種部品は正しく接続されていますか?	正しく接続して下さい。 各部品メーカーへお問い合わせ下さい。
FTTHの場合	FTTHのインターネット各種部品は正しく接続されていますか?	正しく接続して下さい。 各部品メーカーへお問い合わせ下さい。

◎住宅用情報盤の部品単体についてわからない事がある時

状態	点検(確認して下さい)	処置(対策)
宅内配線用端子函についてよくわからない	取扱説明書をもう一度お読み下さい。	取扱説明書の連絡先へご質問下さい。
8ポートハブについてよくわからない	取扱説明書をもう一度お読み下さい。	取扱説明書の連絡先へご質問下さい。
分電盤(ボックス)についてよくわからない	施工説明書をもう一度お読み下さい。	施工説明書の連絡先へご質問下さい。

工事店様へ

工事店様へ 工事終了後はこの取扱説明書を施主様にお渡しください。

●ご転居されたり、贈答品などで販売店(工事店)に修理のご相談ができない場合
『東芝家電修理ご相談センター』 0120-1048-41(フリーダイヤル)

東芝ライテック株式会社 電材照明社 (お客さま相談室 0120-66-1048)

〒140-8660 東京都品川区南品川2-2-13(南品川JNビル)

(05313)A

マルチメディアパネル(G)取扱説明書

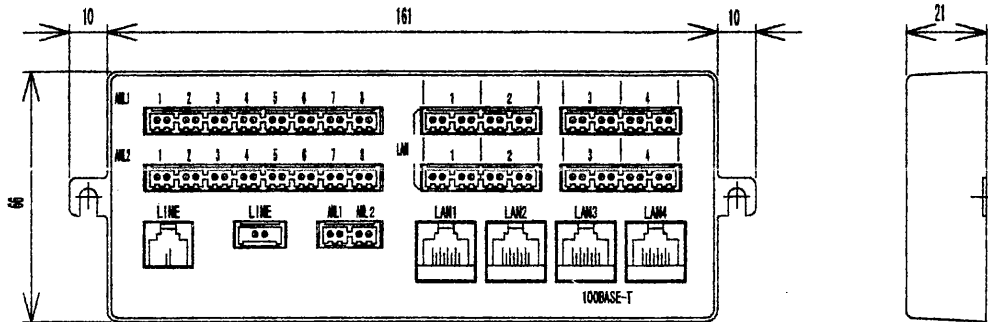
① 特徴

- アナログ8ポート×2系統及びLAN4ポートの配線が容易にできます。
- LAN配線部分はCAT5対応しています。

② 製品仕様

1) 形状寸法・重量

重量：110g (本体のみ)



2) 適用規格

- ① TIA, dIA-568-A (LANポートCAT5伝送性能に適用)
- ② FCC68, ISO8877 (モジュラジャック形状寸法に適用)

3) 使用環境

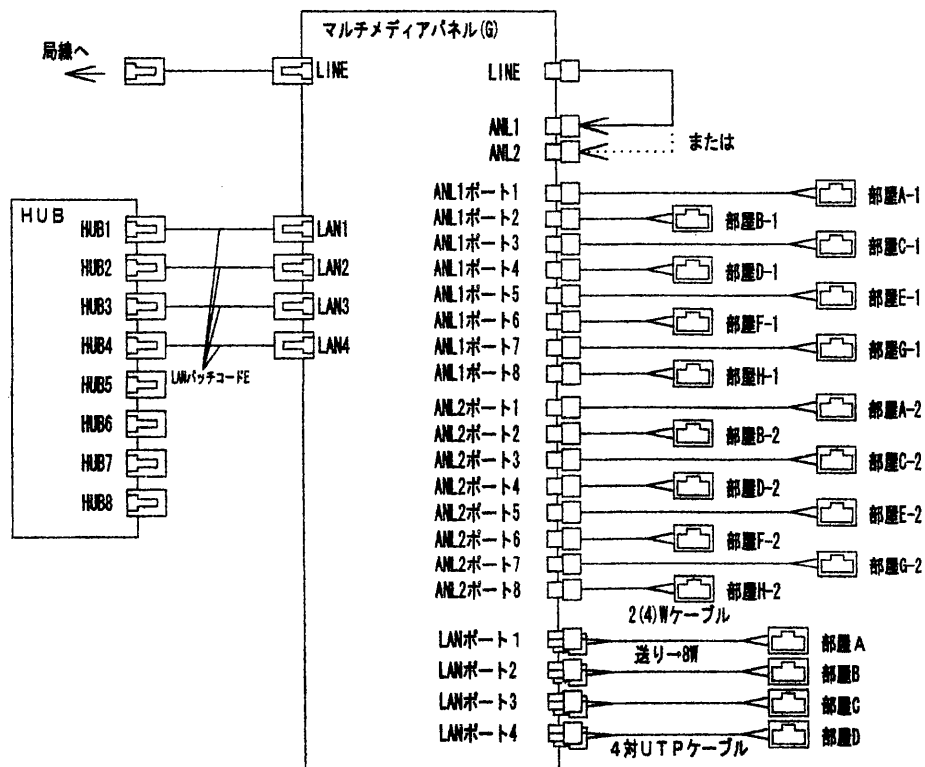
- ① 使用温度 -15～50℃
- ② 使用湿度 25～90% (RH)

4) 添付品

- ① 2極2連圧接LAN用ソケット (黒色) 8個
- ② 2極1連圧接ソケット (青色) 18個
- ③ 4-2極1連圧接ソケット (青色) 1個
- ④ LANパッチコードE 4本

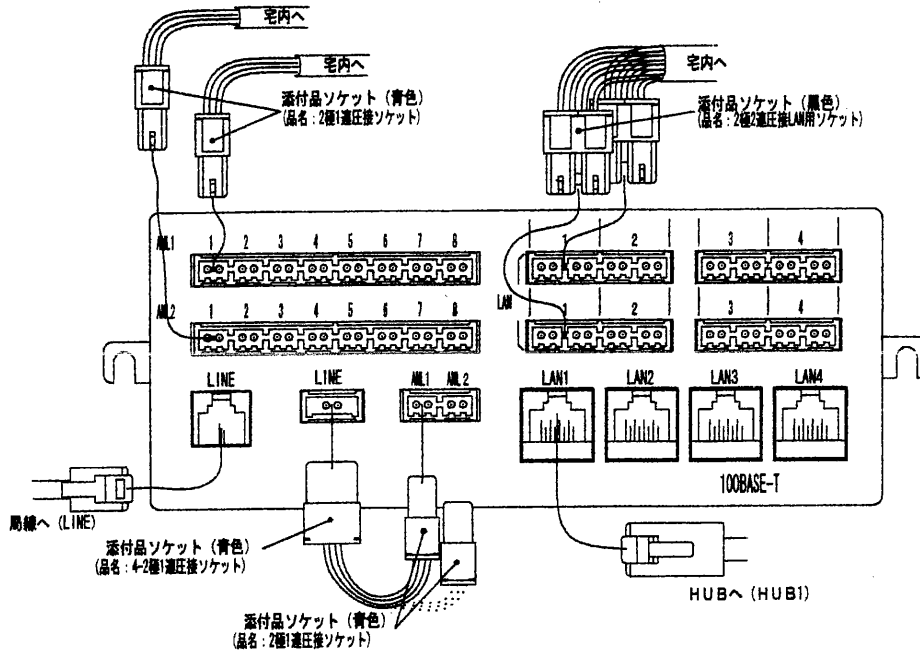
③ マルチメディアパネル(G)の接続概要

1) HUB→パネル→各部屋への接続概要を表します。

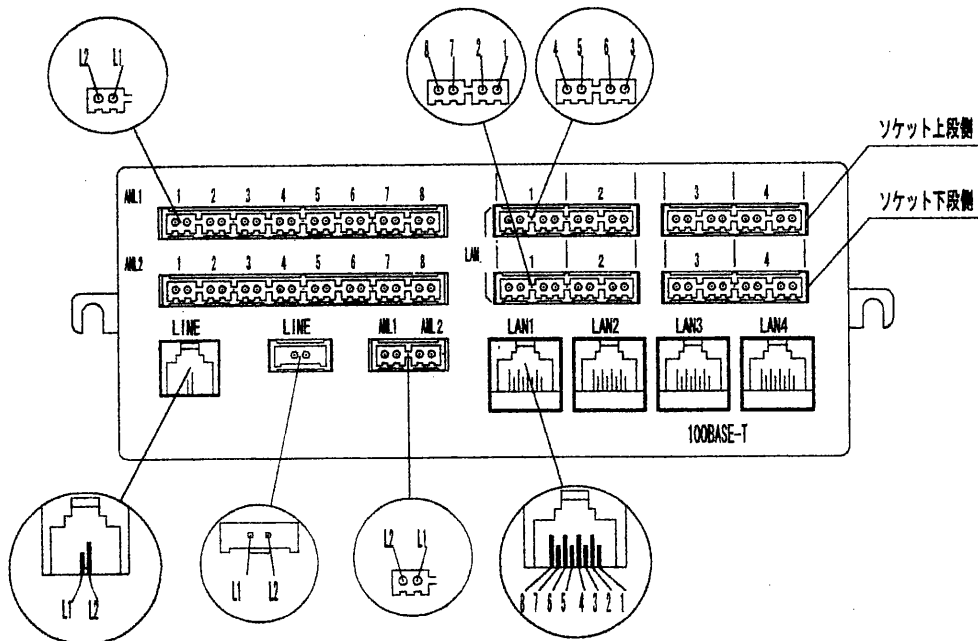


④ マルチメディアパネル(G)の接続方法

- 1) LANパッチコードにてHUBとパネルを接続します。
- 2) 2(4)ワイヤー及び4対UTPケーブルを添付のソケットに圧接します。
- 3) 圧接後、ソケットをプラグに接続してください。



⑤ モジュラー及びプラグ端子詳細



・ケーブルとソケットの圧接作業は、次の詳細図の通り作業してください。
もし圧接が不十分ですと、通信不良の原因となります。

⑥ ワイヤケーブル部接続詳細図

・4対UTPケーブル：ソケット圧接部詳細

1)

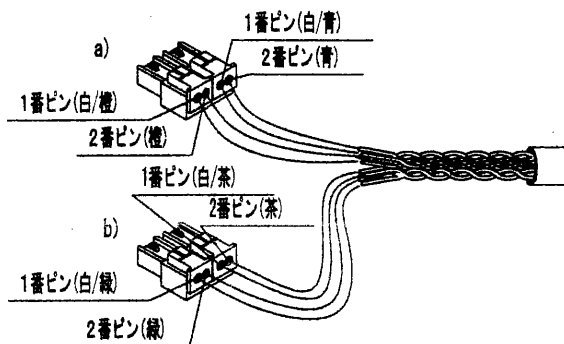


2)

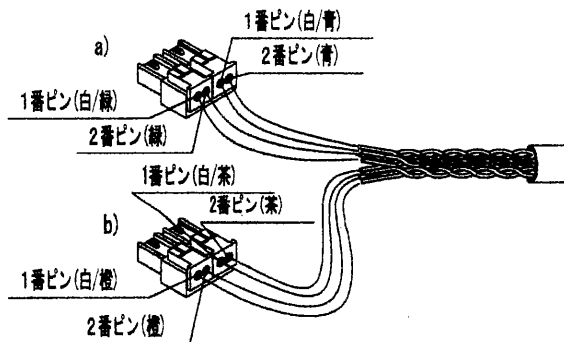


3)

・T568A色使用時配線例



・T568B色使用時配線例



・使用可能ケーブル 導体径：AWG24 (φ0.5)

4対非シールドツイストペアケーブル：CAT5

1)ケーブル被覆を約30mmカットする。

注 電線を傷つけないように、被覆をむいてください。

2)電線の撚りをもどす。

電線の根本を持ち、もう一方の手で電線の先端を持ち、1~2回回転させ撚りをもどす。

そのまま、撚りをもどした範囲の電線を真っ直ぐにする。

注 ケーブルの撚り戻しは、図に示すように10mmまでとする。

3)ソケットに電線を挿入する。

注 ケーブルを挿入する際、ケーブルの色とソケットのピンが以下になっておりますので必ず確認してください。

ケーブル：T568Aケーブル色

a) 上段側 (端子左側より)

1番ピン 白/橙
2番ピン 白/青

b) 下段側 (端子左側より)

1番ピン 白/緑
2番ピン 白/茶

ケーブル：T568Bケーブル色

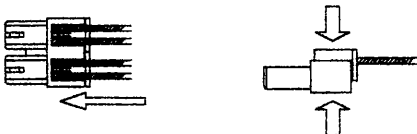
a) 上段側 (端子左側より)

1番ピン 白/緑
2番ピン 白/青

b) 下段側 (端子左側より)

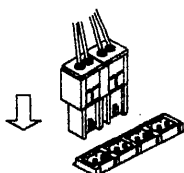
1番ピン 白/橙
2番ピン 白/茶

4)



4) 芯線がソケットの奥まで入っていることを確認後圧接する。(手または平ペン)

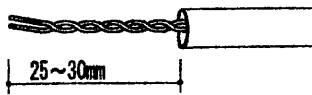
5)



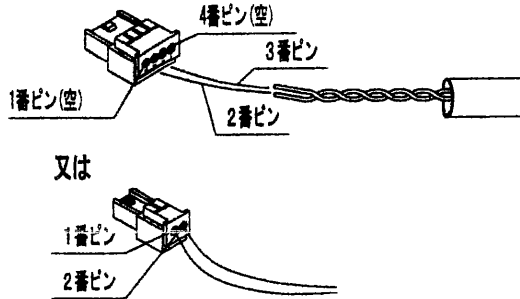
5) ケーブル付のソケットを本体のプラグに接続して完了です。

・1対ツイストペアケーブル：ソケット圧接部詳細

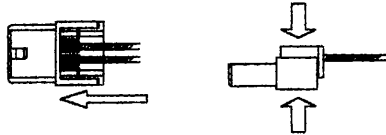
1)



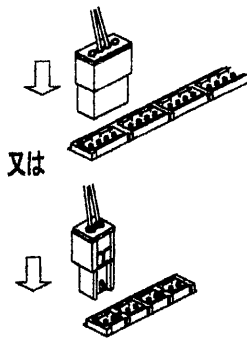
2)



3)



4)



・使用可能ケーブル 導体径：φ0.4～φ0.65

1)ケーブル被覆を約30mmカットする。

⚠電線を傷つけないように、被覆をむいてください。

2)ソケットに心線に挿入する。

⚠ケーブルを挿入する際、ケーブルの色とソケットのピンの関係が以下のようになっておりますので必ず確認してください。

1番ピン	なし
2番ピン	白/青
3番ピン	なし
4番ピン	なし

1番ピン	白/青
2番ピン	青

3)芯線がソケットの奥まで入っていることを確認後圧接する。
(手または平ペン)

4)ケーブル付のソケットを本体のプラグに接続して完了です。

⚠ソケットは一度圧接するとケーブルをはずすことが出来ませんので十分に確認のうえ圧接を行ってください。
万一、間違えた結線をした場合はケーブルを切断し、別のソケットをご使用ください。

内容についての問い合わせ先

かがつう株式会社 金沢工場
情報システム技術部 マルチメディアパネル担当

〒929-0345 石川県河北郡津幡町太田に140
TEL (076) 289-3143 FAX (076) 289-7331



FSW-8L

8 Port 100M/10M Switching HUB

取扱説明書

この度は、corega FSW-8Lをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書をお読みになり、正しい設置を行ってください。また、お読みになった後も、大切に保管してください。

製品概要

本製品は、100BASE-TX/10BASE-Tの自動認識ポートを8ポート装備したファーストイーサネット・スイッチです。各ポート間の通信はブリッジ機能で行うため、100Mbpsだけで構成されたネットワークや10Mbpsだけで構成されたネットワークだけでなく100Mbpsと10Mbpsが混在したネットワーク環境でもご利用になれます。

- ・オートネゴシエーション機能をサポート
- ・フルコントロール(Half Duplex時)：バックプレッシャー機能、Full Duplex時：IEEE802.3xをサポート
- Full Duplex時のフルコントロールは、接続先の機器もフルコントロール(IEEE802.3x)をサポートしている場合に機能します。
- ・電源内蔵型
- ・100Mbps/10Mbps、Full Duplex/Half Duplex自動認識、自動切り換え
- ・カスケード接続用ポートを1ポート装備 (HUB/PC切替スイッチで切替可能)
- ・ネットワークや機器の状態が一目でわかるLEDを装備

同梱品一覧

最初に下記の付属品が入っていることを確認してください。万一、欠品、不良などございましたら、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

- ・ corega FSW-8L 本体
- ・ 電源ケーブル(AC100V用)
- ・ コム足(粘着タイプ・4個)
- ・ マグネット(2個)
- ・ ウォールマウント用タッピングスクリュー(2個)
- ・ ウォールマウント用プラスチックアンカー(2個)
- ・ 取扱説明書(本書は製品保証書もかかっています)
- ・ シリアル番号シール

再梱包

本装置を移送する場合、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本装置が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

各部の名称と機能

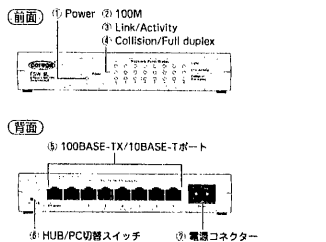


図1 外観図

製品保証書 (1年保証)

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定(裏面)に基づき、製品の無償修理とお約束するものです。

製品名 **corega FSW-8L**

シリアル番号 (S/N)

ご購入日

製品保証に関するお問い合わせ先
corega サポートセンター
 TEL: 045-476-6268 FAX: 045-476-6294
 住所: 〒222-0033 横浜南港北区新横浜1-19-20
 受付時間: 10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
 月～金(祝・祭日を除く)

販売店様印

※本保証書にお買い上げ販売店の記名及び印印がない場合は、有償扱いとなりますので予めご了承ください。
※製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。

- ① Power (緑)
本体に電源が供給されているとき点灯します。
- ② 100M (緑)
ポートが100Mbpsで動作しているときに点灯します。消灯している場合は、10Mbpsで動作していることを示します。100Mbps/10Mbpsの切り換えは、オートネゴシエーション機能によって、本製品が自動的にを行います。ユーザーが設定する必要はありません。
- ③ Link/Activity (緑)
本製品のポートと接続機器とのリンクが確立し、相互に通信可能な状態にあるときに点灯します。また、パケットの送受信が正常に行われているときに点滅します。
- ④ Collision/Full duplex (緑)
ポートがFull duplexで動作しているときに点灯します。消灯している場合は、Half duplexで動作していることを示し、コリジョンが発生しているときに点滅します。
- ⑤ 100BASE-TX/10BASE-Tポート
100BASE-TX、または10BASE-TのUTPケーブルを接続するためのコネクタです。このポートは、自動認識機能によって通信速度(100Mbps/10Mbps)を検出し、最適な状態で接続します。ポート8はカスケードスイッチによって、カスケード接続用ポートとして使用するか、通常の100BASE-TX/10BASE-Tポートとして使用するかを設定することができます。

- ⑥ HUB/PC切替スイッチ
ポート8をカスケード接続用ポートとして使用するか、通常の100BASE-TX/10BASE-Tポートとして使用するかを設定するためのスイッチです。止荷時設定は「FC」です。
- HUB
カスケード接続するときのカスケード接続用ポート(MDI)として使用します。
- PC
通常の100BASE-TX/10BASE-Tポート(MDI-X)としてご利用します。

- ⑦ 電源コネクタ
電源ケーブルを接続するためのコネクタです。
- ⑧ 設置するまえに
 - 設置場所
本書裏面の「安全のために」をよくお読みになり、正しい場所に設置してください。
 - 電源
本製品は日本国内で使用してください。この場合、同梱の電源ケーブルを用い、AC100Vの電源に接続してご使用ください。また、指定された電源電圧以外で、使用しないでください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。
 - ディスクの上などに設置する場合
本製品をデスクの上などに設置する場合は、本体底面の四隅にある「マーク」の位置に必ず付属のコム足を取り付けてください。本体を固定し、衝撃を受取るクッションの役目をします。また、貼り直しは、粘着力を弱めますのでご注意ください。

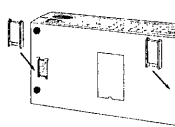
設置するまえに

- 設置場所
本書裏面の「安全のために」をよくお読みになり、正しい場所に設置してください。
- 電源
本製品は日本国内で使用してください。この場合、同梱の電源ケーブルを用い、AC100Vの電源に接続してご使用ください。また、指定された電源電圧以外で、使用しないでください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。
- ディスクの上などに設置する場合
本製品をデスクの上などに設置する場合は、本体底面の四隅にある「マーク」の位置に必ず付属のコム足を取り付けてください。本体を固定し、衝撃を受取るクッションの役目をします。また、貼り直しは、粘着力を弱めますのでご注意ください。

マグネットの取り付け

本製品に付属のマグネットを使用して、本製品をOAデスクの様々な重なる場所に設置できます。

マグネット取り付け位置の前側にあるツメとマグネットのツメの方向を合わせ、マグネットをツメの反対側から本体に差し込み、強く押しつけます。



マグネットの使用および取上の注意

- ⚠ 設置面の状態によってはマグネットの十分な強度を得られないことがあります。
- ⚠ 取り付けの際は機器およびケーブルの重みにより機器が落下しないよう確実に取り付け・設置してください。ケガ・故障の原因になることがあります。
- ⚠ 機器をマグネットで高所に取り付けないでください。落下によるケガ・機器破損の恐れがあります。

- ⚠ 振動・衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しないでください。落下によるケガ・故障の原因になることがあります。
- ⚠ OAデスクなどにマグネットで機器を取り付けたまま、機器をずらさないでください。被着面の塗装などに傷が付く恐れがあります。
- ⚠ マグネットにフロッピーディスクや磁気力などを近づけないでください。磁気の影響により記録内容が消去される恐れがあります。
- ⚠ 機器をマグネットでパソコンおよびディスプレイなどの電子機器に取り付けしないでください。

起動と停止

- 電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込み起動します。電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントから抜きとります。
- ① 本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。
- ② 電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントに差し込んだままソケット側を抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

接続のしかた

- ケーブル
すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることをご確認ください。本製品と端末を接続するケーブルの長さは100m以内にとってください。また、ケーブルは100BASE-TXの場合はカテゴリ5のUTPケーブル(ストレートタイプ)、10BASE-Tの場合はカテゴリ3以上のUTPケーブル(ストレートタイプ)を使用してください。
- 通信モード
IEEE802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない機器と本製品を接続する場合は、必ず接続先の機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

接続手順

- ① 本体前面の100BASE-TX/10BASE-TポートにUTPケーブルを接続します。
- ② ネットワークに接続する端末に、100BASE-TX/10BASE-Tネットワークインターフェースカードが正しく取り付けられていることを確認して、UTPケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェースカードに接続します。
- ③ 電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込みます。
- ④ 本体前面のPower LED(緑)が点灯することを確認します。UTPケーブルの接続が正しく行われていれば、Link/Activity LED(緑)が点灯します。

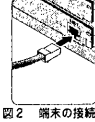


図2 端末の接続

スタンドアロン

本製品は単なるスタンドアロンの環境で使用できます。本製品と端末間のUTPケーブルの長さは100m以内にとってください。

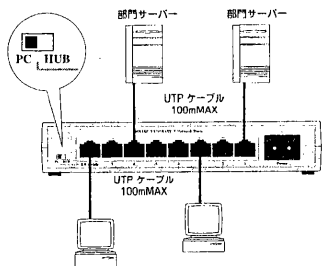


図3 スタンドアロンの接続例

カスケード接続

カスケードポートを使用すると、ケーブルを必要とすることなく簡単にカスケード接続することができます。また、リピーターやハブとは異なり、スイッチのカスケード接続はコリジョンメカニズムを分割するので、カスケード接続できる数に理論上の制限がありません。そのため、本製品をカスケード用途に合わせ何層でも拡張することができます。

① ただし、カスケードの階数は、ネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限されることがあります。

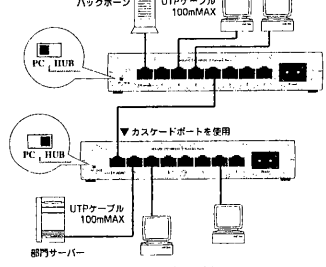


図4 カスケード接続の例(本製品同士)

接続手順

- ① 本製品の100BASE-TX/10BASE-TポートにUTPケーブル(ストレートタイプ)を接続します。
- ② HUB/PC切替スイッチを右側のHUBにします。

- ③ UTPケーブル(ストレートタイプ)のもう一方の端を、接続機器の通常の100BASE-TX/10BASE-Tポートに接続します。

トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

- ① Power LEDは点灯していますか?
Power LEDが点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がないか、電源プラグが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。
- ② Link/Activity LEDは点灯していますか?
Link/Activity LEDは接続先の機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

- 接続先の機器に電源が入っているか確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェースカードに障害がないか、ネットワークインターフェースカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。
- UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないかを確認してください。2つのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは最大100mと規定されています。
- 接続先の機器の通信モードを確認してください。本製品の100BASE-TX/10BASE-Tポート(カスケードポート)を含むは、オートネゴシエーション機能をサポートしていません。IEEE802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先の機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。
- 本製品の100BASE-TX/10BASE-Tポートを確認してください。本製品のリピーターやスイッチをカスケード接続する場合は、本製品の100BASE-TX/10BASE-Tポートと他のリピーターやスイッチの通常の100BASE-TX/10BASE-Tポートを接続してください。
- 特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- UTPケーブルに断線はありませんか?ケーブルの不良は外観からは判断しにくい(結核は良いが特性が異なる場合など)、他のケーブルに交換して試してみてください。
- リピーター(=ハブ)の数が制限を越えていないか確認してください。ファーストイーサネット(100Mbps)の場合、クラスIIのリピーターは、1つのコリジョンドメイン内で2台までしかカスケード接続することができません。その場合、リピーター間のケーブルの長さは5m以内にとってください。クラスIのリピーターはカスケード接続することができません。イーサネット(10Mbps)の場合、カスケードできるリピーターの台数は、最大4台までとされています。

- 接続先の機器の通信モードを確認してください。本製品の100BASE-TX/10BASE-Tポート(カスケードポート)を含むは、オートネゴシエーション機能をサポートしていません。IEEE802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先の機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

- 本製品の100BASE-TX/10BASE-Tポートを確認してください。本製品のリピーターやスイッチをカスケード接続する場合は、本製品の100BASE-TX/10BASE-Tポートと他のリピーターやスイッチの通常の100BASE-TX/10BASE-Tポートを接続してください。

- 特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

- UTPケーブルに断線はありませんか?ケーブルの不良は外観からは判断しにくい(結核は良いが特性が異なる場合など)、他のケーブルに交換して試してみてください。

- リピーター(=ハブ)の数が制限を越えていないか確認してください。ファーストイーサネット(100Mbps)の場合、クラスIIのリピーターは、1つのコリジョンドメイン内で2台までしかカスケード接続することができません。その場合、リピーター間のケーブルの長さは5m以内にとってください。クラスIのリピーターはカスケード接続することができません。イーサネット(10Mbps)の場合、カスケードできるリピーターの台数は、最大4台までとされています。

- 接続先の機器の通信モードを確認してください。本製品の100BASE-TX/10BASE-Tポート(カスケードポート)を含むは、オートネゴシエーション機能をサポートしていません。IEEE802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先の機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

- 本製品の100BASE-TX/10BASE-Tポートを確認してください。本製品のリピーターやスイッチをカスケード接続する場合は、本製品の100BASE-TX/10BASE-Tポートと他のリピーターやスイッチの通常の100BASE-TX/10BASE-Tポートを接続してください。

- 特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

- UTPケーブルに断線はありませんか?ケーブルの不良は外観からは判断しにくい(結核は良いが特性が異なる場合など)、他のケーブルに交換して試してみてください。

- リピーター(=ハブ)の数が制限を越えていないか確認してください。ファーストイーサネット(100Mbps)の場合、クラスIIのリピーターは、1つのコリジョンドメイン内で2台までしかカスケード接続することができません。その場合、リピーター間のケーブルの長さは5m以内にとってください。クラスIのリピーターはカスケード接続することができません。イーサネット(10Mbps)の場合、カスケードできるリピーターの台数は、最大4台までとされています。

- 接続先の機器の通信モードを確認してください。本製品の100BASE-TX/10BASE-Tポート(カスケードポート)を含むは、オートネゴシエーション機能をサポートしていません。IEEE802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先の機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

- 本製品の100BASE-TX/10BASE-Tポートを確認してください。本製品のリピーターやスイッチをカスケード接続する場合は、本製品の100BASE-TX/10BASE-Tポートと他のリピーターやスイッチの通常の100BASE-TX/10BASE-Tポートを接続してください。

- 特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

- UTPケーブルに断線はありませんか?ケーブルの不良は外観からは判断しにくい(結核は良いが特性が異なる場合など)、他のケーブルに交換して試してみてください。

- リピーター(=ハブ)の数が制限を越えていないか確認してください。ファーストイーサネット(100Mbps)の場合、クラスIIのリピーターは、1つのコリジョンドメイン内で2台までしかカスケード接続することができません。その場合、リピーター間のケーブルの長さは5m以内にとってください。クラスIのリピーターはカスケード接続することができません。イーサネット(10Mbps)の場合、カスケードできるリピーターの台数は、最大4台までとされています。

推奨ケーブル

100BASE-TX/10BASE-Tケーブル
次のような結核(ストレート)のUTPケーブル(Unshielded Twisted Pair Cable)をシールドなしツイストペアケーブルとしてご使用ください。100BASE-TXでは、カテゴリ5のUTPケーブルを使用しなければなりません。10BASE-Tでは、カテゴリ3、4、5のケーブルを使用することができます。

MAU (MDI)	HUB (MDI-X)
1D+ 1	1 RD+
1D- 2	2 RD-
RD+ 3	3 TD+
未使用 4	4 未使用
未使用 5	5 未使用
RD- 6	6 TD-
未使用 7	7 未使用
未使用 8	8 未使用

製品仕様

サポート規格	
IEEE 802.3/IEEE 802.3u/IEEE 802.3x	
転送モード	
ストア&フォワード	
電源部	
定格入力電圧	AC100-240V
入力電圧範囲	AC85~264V
定格周波数	50/60Hz
最大入力電流	1.00mA
平均消費電力	5.8W (最大8.7W)
平均発熱量	5.0Kcal/h (最大7.5Kcal/h)
環境条件	
保管時温度	-20~60℃
保管時湿度	95%以下(ただし、結露なきこと)
動作時温度	0~40℃
動作時湿度	80%以下(ただし、結露なきこと)
外形寸法(突起部含まず)	
177(W)×103(D)×31(H)	
重量	
327g (電源ケーブル含まず)	
アドレスエントリ数	
4,000個	
アドレス保持時間	
240秒	
パケットメモリ容量	
256Kbyte	
適用規格	
EMI規格 VCCIクラスA	

調査依頼書 (corega FSW-8L)

年 月 日

この装置は、情報処理装置等電圧降下自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要請されることがあります。

保証と修理について

保証について

本書に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使った場合のみ、保証の対象となります。また、物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確かめてください。現象が改善されない場合は、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、保証書を添付し、弊社サポートセンター宛に「製品付属品一式を含む」ので予めご了承ください。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

- 保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても無償修理になる場合があります。
- 弊社サポートセンターへ製品を送付する際の送料はお客様ご負担とさせていただきます。尚、途中の故障や事故に際しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 早急便などの送料の残る方法で送付願います。(普通郵便による送付は固くお断りいたします)
- 修理期間は、製品到着後、約10日程度(弊社営業日数)を予定しております。
- 誠に申し訳ございませんが、直接来社されたサポート依頼は受付けておりませんので、製品は必ず急便などで送付してください。

製品送付先

〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-19-20
(株)コレガ corega サポートセンター宛

corega製品の情報を知りたいときには

当社のホームページに、最新情報や製品についてのQ&Aなどを掲載しています。どうぞご利用ください。

- coregaのホームページにアクセスしてください!
<http://www.corega.co.jp/>

●「Corega Net-News」のご案内
「Corega Net-News」はコレガ社が提供するメール配信サービスです。最新製品情報やキャンペーン、プレゼント情報など、耳よりな情報をお届けいたします。メール配信サービスをご希望のお客さまは、coregaホームページでご登録ください。尚、メール配信サービスはどなたでも登録いただけます。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAXによって詳細な情報を送付いただくほうが、電話による問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入のお願い」をご覧ください。

Tel: 045-476-6268
月～金(祝・祭日を除く)
10:00-12:00、13:00-17:00
Fax: 045-476-6294
年中無休 24 時間

※番号はお間違えないよう、よくお確かめの上ダイヤルしてください。

調査依頼書のご記入のお願い

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも、以下の点にそって十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

使用しているハードウェアについて

●製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョン(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンは、製品の底面に貼付されているシリアル番号シールに記載されています。(例)



お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するの、またそれどのような状況で発生するの、出来る限り具体的に(再現できるように)記入してください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

ネットワーク構成について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。ご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。ご了承ください。
- 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright ©2001 株式会社コレガ

商標

coregaは、株式会社コレガの登録商標です。

2001年2月 Rev.A 初版

一般事項

1. 会社名(個人名):

部署名:

ご連絡先住所: 〒

フリガナ:

ご担当者:

TEL:()

FAX:()

2. 購入先:

購入先担当者:

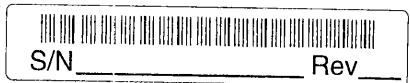
購入年月日:

購入先 TEL:()

ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種(製品名)、シリアル番号、リビジョン

製品名: corega FSW-8L



2. お問い合わせ内容

設置中に起こっている障害

別紙あり 別紙なし

設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図

別紙あり 別紙なし

安全のために

必ずお守りください



警告

下記の注意事項を守らないと、火災・感電の恐れがあります。火災・感電の恐れがあります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載の正しい分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

雷電の原因となります。



異物は入れない 水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万が一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



通風口はふさがらない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となります。



交流100Vの電源でお使いください。

異なる電圧電源で使用すると火災や感電の原因となります。



電源ケーブルを傷つけない

火災や感電の原因となります。

電源ケーブルやプラグの取扱上の注意:

- 加工しない、傷つけない。
- 重いものを載せない。
- 暖房器具に近づけない、加熱しない。
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えることによる火災の原因となります。



設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。



ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所(結露するよう場所)
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)
- 振動の多い場所
- ほこりの多い場所や、ジュウタンを敷いた場所(静電気発生原因となります)
- 開食性ガスが発生する場所



取り扱いに注意

落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。

静電気に注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コンピュータの接点部分、ポート、断線などに素手で触れないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で、該動作の原因となります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

濡れた場合は、柔らかい布に濡めた布巾で洗剤(中性)をふき取り、乾かした後に乾いた柔らかい布で拭いてください。

お手入れには次のものは使わないでください

- 石油・おがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(洗剤ぞうきん)を使用のときは、その注意書に従ってください

シンナー類禁止

ぬらすな 中性洗剤 ぬれ拭く

ぬらすな 中性洗剤 ぬれ拭く

ぬらすな 中性洗剤 ぬれ拭く

ぬらすな 中性洗剤 ぬれ拭く

ぬらすな 中性洗剤 ぬれ拭く

製品保証規定

- この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取り扱った説明書などにしたがった正常な使用をしていにもかかわらず故障が発生した場合に、無償修理をお約束するものです。
- ・ハードウェア本体: 製品保証書に記載の「保証期間」で無償保証とします。(但し、本規定の他の条項に準じます。)
- ・電源アダプター/電源ケーブル: 1年保証
- ・本体付属品: 3ヶ月保証
- 保証期間中の無償修理は、故障製品を弊社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。表面の製品保証書に記載された「製品保証」に関するお問い合わせ先まで故障製品を送付してください。送料はそれぞれ送付完了後とさせていただきます。
- 保証期間中であつても次の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていただきます。(ただし、無償修理の適用外であっても有料での修理または代替品への交換、サービスはご利用いただけます。)
- 1. 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
- 2. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
- 3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地災、公害、障害、異常気象など
- 4. 接続された他の装置が原因で生じた故障および損傷
- 5. 虫歯、船舶など搭載されたことによって生じた故障および損傷
- 6. 消耗品の交換(バックアップ電池など)
- 7. 製品保証書の提示がない場合
- 8. 製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合
- 修理によって交換された代替品、不良品品の所有権は弊社に帰属するものとします。
- 製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。
- 製品保証書は、日本国内のみ有効です。
- 製品保証書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。